（別添１）　＜市区町村分＞

（※本書式は、河川毎に作成願います。ただし、「普通河川」においては、河川の規模も小さく、氾濫エリアや合流河川が同一であり、土砂撤去等の工事を一括発注する予定の場合などは、市区町村単位やエリア単位でも作成可）

令和８年度　緊急浚渫推進事業計画（河川）

市　区　町　村　名 新潟県南蒲原郡田上町
河　川　名　信濃川水系寿団地排水路（普通河川）
（普通河川は、管理されている名称・番号等でも可）
担当課室名　地域整備課　施設整備係　（担当）近藤
連　絡　先 0256-57-6223

事業名	信濃川水系　寿団地排水路緊急浚渫推進事業
事業の内容 （浚渫箇所（所在地））	田上町が管理する信濃川水系寿団地排水路の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：新潟県南蒲原郡田上町大字田上（山田）地内 【別図参照】

実施予定期間：令和７年度～令和８年度（２年間）

土質区分：別添「発生土利用基準について」の「土質区分基準」による区分

予定事業量
（各年度の浚渫土砂量）
（単位：m3）
※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、（m2）書きで記載
※事業実施にあたり、提出時点で想定される事業量について記載（変更がある場合には随時変更して差し支えない）
※複数年度で実施する場合、事業量については、過年度分の計画値を実績値に修正すること。
※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するよう残量について記載し、適切に進捗管理するものとする。

		残量
令和７年度	69㎥	69㎥
令和８年度	69㎥	0㎥
令和９年度		
令和１０年度		
令和１１年度		
計	138㎥	0㎥

第４種建設発生土
（把握が可能な場合に記載）
※目視による見込みであり、実際と異なり得ること等を注意書き可。
※対象箇所の近隣で過去浚渫をした情報で代替することでも可。
※事前調査又は浚渫開始後でなければ判明しない場合は、判明次第追記して情報を更新可。
※土質について、明確には判明しない場合、「第一種発生土又は第二種発生土」のように包括的に記載すること可。

予定事業費
（単位：千円）
※事業実施にあたり、提出時点で想定される事業費について記載（変更がある場合には随時変更して差し支えない）
※複数年度で実施する場合、事業量については、過年度分の計画値を実績値に修正すること。

	事業費	地方債	一般財源	
令和７年度	1,540	1,300	240	
令和８年度	1,770	1,700	70	
令和９年度				
令和１０年度				
令和１１年度				
計	3,310	3,000	310	

事業の必要性、緊急性 ※提出時点で記載可能な範囲で差し支えない	・信濃川水系寿団地排水路は町北部に位置している普通河川である。 ・また、同河川は過去の出水時からの土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、流下能力が低下している。その安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和８年度現在、河道内の土砂堆積量は69㎥であり、早期の流下能力（断面）確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。
浚渫目標 ※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するよう適切な計画を立てること ※提出時点で記載可能な範囲で差し支えない	・令和７年度～令和８年度の２年間で、河川環境に配慮しつつ138㎥の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。
河道の状態把握 ※今後の河川管理の目標（実態、計画）・方針等について、可能な範囲で記載 ※変更がある場合には随時変更して差し支えない	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：雨量データは近隣の公共施設で随意測定をし参考値としている。 ・河川巡視：田上町大字田上（山田）地内（同河川沿線）　出水期に随時実施（不定期） ・施設点検等：同上
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載 ※令和11年度までに必要な堆積土砂掘削を確実に完了するための取組等を記載 ※変更がある場合には随時変更して差し支えない	※発生土砂量につきましては、現時点での見込みであり掘削時点での変更となる可能性があります。また、発生土砂については、状態を確認し公共事業で利活用を検討します。

＊記述内容に変更がある場合には、必ず変更のうえ提出するものとする。